

北京消息第56号

新潟市北京事務所

中国北京市東城区建国門内大街 18 号
恒基中心 1-704 号室

<http://city.niigata.org.cn/> 7月29日発行

報告 1

「北京国際旅游博覧会」(B I T E 2 0 1 5)に参加

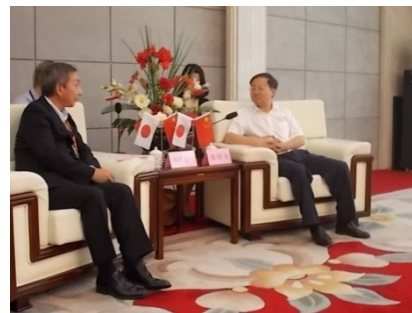
6月26日から28日の3日間、北京国家会議中心にて「北京国際旅游博覧会」(B I T E 2 0 1 5)が開催され、旅行関係者や旅行好きな人々でにぎわいました。新潟市北京事務所は、新潟市と佐渡市の観光誘客担当部局とともに、新潟の観光の魅力や新潟空港や東京からの観光コースの宣伝を行ないました。豊かな自然や食べ物のおいしい新潟に是非行ってみたいという人々からたくさんの質問を受け、今後、一層のPRが必要であることを感じました。また、博覧会前日には、北京市の旅行社訪問に同行し、芸妓の舞の鑑賞やアニメ関係のイベントや施設など新潟の文化についても説明、大きな関心を引き出すことができました。

第14回中日経済協力会議に参加

7月15日から17日の3日間、遼寧省瀋陽で第14回中日経済協力会議が開催され、特に、中国東北地方に大きな関わりをもつ日中の民間団体や地方政府機関関係者など600名余りが参加しました。16日には、午前中に全体フォーラム、午後からは分科会が開催され日中それぞれの地域や組織での経済発展に向けた取り組みが披露されました。新潟市北京事務所は、新潟市の木村副市長に同行し、会議と現地視察に参加しました。現地視察では、遼寧省鞍山市と大連市を訪問。鞍山市では、木村副市長が訪問団を代表し、鞍山市の泰国夫副市長と会見、日中間の友好促進について話し合われました。



北京旅游博
新潟市ブースの様子



木村副市長・泰副市長会談

報告 3

新潟市と日本アニメ・マンガ専門学校(JAM)が香港ブックフェアに共同出展

2015香港ブックフェアが7月15日から21日まで香港コンベンション&エキシビションセンターで開催されました。当フェアはアジア最大級の書籍の国際見本市で、毎年100万人以上が集まるイベントです。昨年に続き日本ブースが開設され、角川書店、日本国際交流基金、和歌山県、兵庫県などのブースが並ぶ中、新潟市・JAMが出展しました。

出展内容は、にいがたマンガ大賞作品集展示販売、新潟市ゆかりの漫画家の作品展示、JAMの作品集展示販売やペン付け体験などでした。特に体験ものが非常に人気で、ペン付け

体験の前には人だかりができていました。

期間中、日本のアニメ・マンガを見て日本語の勉強を始めたという若者たちも多数ブースを訪れ、海外での日本のアニメ・マンガの人気を改めて実感するとともに、香港の若者達にも新潟を知ってもらうよい機会となりました。(畑)



新潟市・JAM 共同ブース



運営スタッフ集合写真

西園寺 一晃先生の

中国レポート No. 49 2015年7月23日

中国株の急落が大きな話題となった。この影響は日本や東南アジアにも及んだが、なりふり構わずといった中国政府の関与で株価は下げ止まりし、ひとまず落ち着き感が出ている。中国の株投資家の82%は個人投資家であり、まだ成熟していない。急落するとパニック状態に陥り、あわてて売りに殺到し、それがまた株価を下げる結果となった。ただ「大変だ!」という空気ほど大変ではないようだ。流通株式の約60%は政府や国有企業が保有しているので、政府の関与が効果を発揮し易い状況があるからだ。政府がこれ以上の株安を望まないという態度を示したので、個人投資家も少し落ち着きを取り戻したというわけだ。

中国では経済構造の転換が行われているが、その成果が出るには時間がかかる。これまでの成長モデルが通用しなくなり、成長率が低下しだした。さらに経済成長に大きな影響を及ぼす不動産市場が低迷したので、不動産に流れていたマネーが株に向かっていった。その結果、成長率減速下での異常な株高という現象が生まれた。つまり実体経済とかけ離れたところで株価が一人歩きしていたのである。株価急落と言ってもまだ昨年半ばよりははるかに高い。

さて、第2四半期(4月—6月)のGDP成長率が発表された。対前年同期比+7.0%であった。第1四半期と同じ伸び率であるが、対前期比では第1四半期が+1.3%であったのに対し、第2四半期は+1.7%とやや好転した。ただこれは経済構造の転換が力を発揮しだしたわけではない。政府及び国营企業、保険会社、証券会社などの株価対策、昨年11月から今年6月までの4回にわたる利下げ、今年2月と4月の預金準備率引き下げ、前倒しを含む地方のインフラ整備の加速などを行い、景気を下支えしたからである。もう1つの要素は、不動産市況が、大都市を中心にやや上向いてきたからである。第1四半期の不動産販売額は、対前年同期比-9.3%だったが、第2四半期は、同+10.0%と二桁上昇となった。その一方で、かつては成長をけん引した新車販売が依然低迷している。輸出は対前年同期比で、6月が+2.8%と4か月ぶりに対前年同期比で上回り、少し光が見えてきたが、輸入は同-6.1%と、8か月連続で落ち込んだ。貿易全体はまだ本格的に回復していない。

中国国家统计局の専門家は、今年後半の景気は今より上昇するだろうから、通年の目標

である7.0%成長は実現できると見ているようだが、まだまだ不安定要素は多く、予測は難しい。なお、7月に発表された最新のIMF（国際通貨基金）予測では、中国の通年成長率は+6.8%である。

国内経済は低迷感を免れないが、対外投資には勢いがある。ここ数年、中国政府は「走出去」（海外に打って出る）政策を強化している。昨年の国内直接投資は、対前年比1.7%増の1196億ドルであったが、対外直接投資は、同7.6%増の1160億ドルだった。対外直接投資額が国内直接投資額を上回るのは時間の問題である。中国はすでに世界第3位の対外投資実績を持つが、今後AIIIB（アジアインフラ投資銀行）の設立や「一带一路」（陸と海のシルクロード経済圏設立）計画の推進、あるいは人民元の国際化で、投資を含む中国の経済的対外進出に拍車がかかるであろう。

中国経済は苦戦しているが、世界の实体经济の中では確実にその存在感を増している。世界銀行の統計によると、購買力平価ベースのGDPは、世界全体が108.5兆ドル、中国は18兆ドルで、米国の17.4兆ドルを抜き、世界トップとなった。なお、インドはすでに日本を抜いて3位となっているが、昨年は7.4兆ドルで、4位の日本の4.6兆ドルとの差をさらに広げた。このように、かつては日の出の勢いだったBRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）はそれぞれ大きな困難を抱え苦戦しているが、世界の实体经济の中では、相対的に力を拡大させている。それをけん引しているのは中国とインドである。購買力平価で、BRICSのGDPは33.1兆ドルで、世界のGDPの30%を超えた。これはG7の34.5兆ドルに迫るもので、今年中に逆転するかもしれない。

BRICSが共同で創出した新開発銀行（BRICS銀行）が7月21日、上海で開業式を行った。本部を上海に置き、初代総裁はインドのK・V・カマートが務める。これまで国際通貨基金（IMF）、世界銀行、アジア開発銀行（ADB）などを通じ、世界の金融は米国を中心とする先進国が主導してきたが、世界の金融地図が少しずつ塗り替えられつつある。

中国経済の減速、低迷が大きな話題となっている。確かに中国経済は難問山積だ。その一方で、世界経済の中で中国経済は着実に影響力を増している。この両面を見ないと、今の中国経済の本当の姿は理解できない。（止）西園寺

【筆者プロフィール】

西園寺 一晃（さいおんじ かずてる）氏
1944年生まれ

- 明治の元勳・公爵・首相・枢密院議長である西園寺公望氏を曾祖父に持つ。
- 西園寺公一（きんかず）氏（第一回参議院議員・日中文化交流協会常任理事）の長男。
- 北京大学経済学部卒業
- 朝日新聞社に在籍中は、日中関係の調査研究室長などを歴任。退職後も中国問題の調査、研究にあたる。
- 現在工学院大学客員教授、北京大学客員教授、伝媒大学客員教授、北京城市大学客員教授

北京スタッフ便り

三伏について

三伏という言葉が最近すごく気になりました。北京では今年は日中40℃を超える日があり、最近、熱くて、夜寝られなく、朝起きたくない時もあります。

今日はここで、中国の三伏という言葉について簡単に書いて、みなさんとシェアしたいと思います。

三伏とは、陰陽五行説に基づく選日（せんじつ）の一つで、初伏・中伏・末伏の総称です。三伏の日取りは流派により異なりますが、最も一般的なものでは夏至以後の3回目・4回目と立秋以後の最初の庚の日をそれぞれ



初伏・中伏・末伏とします。中国もこの一般的な日取りで三伏の日を決めます。

三伏の時期は7月の中旬から8月上旬まで、ちょうど一年の中で、一番暑い時期です。



三伏の中で一番暑いのは中伏の時です。今年、初伏は7月13日から7月22日までの10日で、中伏は7月23日から8月11日までの20日で、末伏は8月12日から8月21日の10日です。

最近、熱すぎて、夜よく寝られなくなって、食欲不振もあります。今から見ると、体調が悪くなったのではなく、今は一番暑い時期—中伏にありますからのです。



北京では、三伏時期の飲食について、このようなことわざがあります。初伏は餃子、中伏は麺、末伏は油で焼いた餅と卵です。三伏時期に入って、大勢の人が食欲不振で、大変です。餃子や麺などを食べて、飲食改善になり、体によいです。そして、小豆、黒豆、緑豆で煮た「三豆湯」も消化のよい飲み物です。

今日から、末伏が終わるまで暑い日が続きます。消化のよい「三豆湯」をたまには飲んで、餃子や麺などを食べて、この蒸し暑い日に対抗して、仕事に頑張りましょう。(霍)

■ ■ お知らせ ■ ■

「ビジネス支援サービス」をご活用ください。

新潟市の中小企業、団体等が北京市内で経済活動を行うに当たり、様々な支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。詳しくはこちらから

http://city.niigata.org.cn/business_support_service.htm